

第五次国有林野施業実施計画 第一次変更計画書

(網走西部森林計画区)

計画期間

自 平成31年4月 1日

至 平成36年3月31日

策 定 年 月 日 : 平成31年3月25日

第 一 次 変 更 年 月 日 : 令和 4年3月31日

北海道森林管理局

網走西部森林計画区の第五次国有林野施業実施計画の変更について

【変更理由】

次の理由から国有林野管理経営規程（平成11年農林水産省訓令第2号）第14条第2項に基づき変更する。

- 1 国有林野管理経営規程の運用について（11林野経第3号林野庁長官通達）の一部改正に伴い施業群名を変更する。
- 2 森林整備の必要箇所の精査により、人工林の主伐及び間伐に係る伐採箇所及び更新箇所の追加等から伐採総量、更新総量及び保育総量を変更する。

本変更計画は、令和4年4月1日から適用する。

【変更項目及び頁】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	(1)	1
(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	(2)	3
(4) 伐採総量	(2)	3
(5) 更新総量	(3)	6
(6) 保育総量	(3)	6

注：1 ()書きは、網走西部森林計画区の第五次国有林野施業実施計画書の頁である。

2 本文については、変更等を行う項目に係る部分を掲載しており、下線部が変更等の箇所である。

3 各表の数値の計は四捨五入のため、必ずしも一致しない。

【現行計画】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：h a)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	15,219	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			スギ	65年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	13,847	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			スギ	100年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	3,078	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			スギ	伐採始期 50年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	12,414	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	20年	
育成天然林施業群	43,932	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	24,580	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
その他施業群	—	他の施業群の取扱いになじまないもの。取扱い内容は個別に定める。		
合計	113,070			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

【変更計画】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

施業群	面積	取扱いの内容		伐期齢又は回帰年			
				樹種			
通常伐期	15,219		人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年		
				アカエゾマツ ・エゾマツ	80年		
				カラマツ ・グイマツ	50年		
				スギ	65年		
				その他針葉樹	60年		
長伐期	13,847		人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年		
				アカエゾマツ ・エゾマツ	120年		
				カラマツ ・グイマツ	80年		
				スギ	100年		
複層林	15,491	複層林施業	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年		
				アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年		
				カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年		
				スギ	伐採始期 50年 伐採終期 80年		
				その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年		
		混交林施業		必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】			
		天然林 ・その他		68,512	育成天然林施業	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	20年
					天然生林施業	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】	
					その他	他の施業群の取扱いになじまないもの。取扱い内容は個別に定める。	
		合計		113,070			

注1) 林地面積の集計である。

注2) 計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

【現行計画】

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林	その他
上限伐採面積	1,203	694	716	3,103	10,982	6,145	-

(4) 伐採総量

(単位：m³、h a)

区 分	林			地		林地 以外	合計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	16,804	(1,226) 77,731	94,535				
自然維持タイプ	-	(23) 2,201	2,201				
森林空間利用タイプ	-	(2) 128	128				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	(3,006) 89,319	195,338				
	長期単層林	3,807	(2,878) 180,487	184,294			
	複層林	30,500	(397) 23,891	54,391			
	混交林	63,561	(2,335) 141,088	204,649			
	育成天然林	-	(244) 18,709	18,709			
	天然生林	-	-	-			
	その他	-	-	-			
	計	187,187	(8,860) 559,513	746,700			
合計	203,991	(10,112) 639,573	843,564	149,000	992,564	-	992,564
年平均	40,798	(2,022) 127,915	168,713	29,800	198,513	-	198,513

注) 上段 () は、間伐面積である。

【変更計画】

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	通常伐期	長伐期	複層林	天然林・その他
上限伐採面積	1,203	694	3,819	17,127

(4) 伐採総量

(単位：m³、h a)

区 分	林			地		林地以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	16,804	(1,476) 93,013	109,817				
自然維持タイプ	-	(23) 2,201	2,201				
森林空間利用タイプ	-	(2) 128	128				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	通常伐期	(3,158) 88,006	288,917				
	長伐期	(3,165) 3,807	200,568				
	複層林	(3,112) 94,061	283,350				
	天然林・その他	(244) -	18,709				
	計	(9,678) 185,874	791,544				
合計	202,678	(11,179) 701,012	903,690	149,000	1,052,690	-	1,052,690
年平均	40,142	(2,556) 158,635	198,776	29,800	228,576	-	228,576

注1) 上段()は、間伐面積である。

注2) 「年平均」は、変更前の年平均に今回の変更計画による伐採量の増減量を本計画期間の残期間で除したものを加えて算出した数量を計上した。

(再掲) 市町村別内訳

【現行計画】

(単位: m³、ha)

市町村名	林 地					林地以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
紋別市	47,867	(2,326) 143,811	191,678	/	/	/	/
遠軽町	100,686	(4,428) 289,182	389,868				
湧別町	18,160	(569) 45,361	63,521				
滝上町	37,278	(2,788) 161,219	198,497				
合計	203,991	(10,112) 639,573	843,564				

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(ha)を表す。

【変更計画】

(単位: m³、ha)

市町村名	林 地					林地以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
紋別市	47,867	(2,984) 180,342	228,209	/	/	/	/
遠軽町	100,686	(4,428) 289,182	389,868				
湧別町	18,160	(569) 45,361	63,521				
滝上町	35,965	(3,198) 186,127	222,092				
合計	202,678	(11,179) 701,012	903,690				

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(ha)を表す。

【現行計画】

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工造林	単層林造成	-	-	-	-	335	335
	複層林造成	78	-	-	-	212	290
	計	78	-	-	-	547	626
天然更新	天然下種第1類	-	-	-	-	37	37
	天然下種第2類	110	-	-	-	785	895
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	110	-	-	-	822	932
合 計		188	-	-	-	1,369	1,558

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	560	-	-	-	4,951	5,511
	つる切り	15	-	-	-	211	226
	除 伐	74	-	-	-	1,016	1,090

【変更計画】

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工造林	単層林造成	-	-	-	-	328	328
	複層林造成	78	-	-	-	212	290
	計	78	-	-	-	540	618
天然更新	天然下種第1類	-	-	-	-	37	37
	天然下種第2類	110	-	-	-	785	895
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	110	-	-	-	822	932
合 計		188	-	-	-	1,362	1,551

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	560	-	-	-	4,926	5,486
	つる切り	15	-	-	-	211	226
	除 伐	74	-	-	-	1,016	1,090